

2020年5月25日

講習会の受講をお考えの皆様へ

日本ライフセービング協会  
JLA アカデミー本部長 風間隆宏

## 日本ライフセービング協会認定講習会の6月1日以降の開催方針について

日頃より日本ライフセービング協会（JLA）の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの流行に対し、JLAの主催する資格認定講習会は5月31日まで中止する方針を発表しておりましたが、6月1日以降については、以下の条件を満たす都道府県について、講習会を開催していくこととなりました。

講習会の受講をご希望の方は、下記内容をご確認の上、講習会参加の準備をお進め下さい。なお、最終的な開催の判断は、主管者であるJLA加盟団体（都道府県協会等）となり、条件を満たしていても開催されない地域もございます。地域ごとの社会情勢を踏まえた上での判断となりますので、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1.講習会の開催

- (1) 下記に示す開催条件を満たす地域について、2020年6月1日（月）以降の開催を可となりました。
- (2) 条件を満たさない地域については、引き続き中止といたしますが、条件が整い次第、順次開催を可といたします。

#### ■開催の条件（下記4点を全て満たしていること）

- ①緊急事態宣言が解除されている都道府県で実施されること。  
\*サーフLSコース講習会については、都道府県による海岸利用の自粛要請が出されていないこと。
- ②開催地域（市町村）の公立学校（小中学校）の授業が再開されていること。
- ③受講者、指導員、スタッフ等が開催地域（都道府県）の在住者であること。  
\*政府・都道府県による都道府県間の移動自粛要請が無ければ、開催地域外からの受け入れ可
- ④感染予防対策チェックリスト（講習会開催・受講時のチェックリスト.pdf）が全て満たされていること。

#### 2.講習会の開催形態と申し込み

- (1) e-learning 導入講習会  
密閉・密集・密接が発生しやすい学科講習時間の削減を目的とした、e-learningを導入した講習形態です。申し込みに関してはいくつかの留意点がございますので、詳細は『[e-learning 講習会申し込みマニュアル【受講者用】](#)』をご参照ください。
- (2) 通常講習会  
地域によっては、感染の発生状況を踏まえ、会場に集合して学科も含めた全ての講習を実施する形態（通常の講習形態）で開催いたします。LIFESAVERSで申し込みをする際は、講習会名に「e-learning 対応講習会」と記載されていない講習会にお申し込みください。

#### 3.保険適応について

アカデミー講習会には、受講者・指導員・スタッフに対して傷害保険、感染見舞金補償保険、団体賠償責任保険、賠償責任保険が付帯されます。新型コロナウイルス感染症は、付帯される感染見舞金補償保険の補償対象になりますので、感染が確認された場合は、JLA事務局に速やかに連絡してください。

#### 4.その他

上記の通りといたしますが、今後危険性や流行ピークの予想が変更された場合は、予告なく講習会の再開等、見直す可能性があります。何卒ご了承ください。

以上

#### 【お問い合わせ】

公益財団法人 日本ライフセービング協会  
事務局 担当：佐藤洋二郎  
メールアドレス academy@jla.gr.jp



水辺の事故ゼロをめざして  
日本ライフセービング協会

# e-learning導入講習会の 申し込み簡易マニュアル

作成：2020年5月20日  
JLAアカデミー本部

# ◆BLS講習会（e-learning対応）《単独申し込み》

## 【ポイント】

- ・今年度、ベーシックサーフライフセーバー資格取得を**予定していない方**に対する講習会
- ・**BLS資格の取得が可能**
- ・学科は**自宅での動画視聴（e-learning）**が必須※受講条件です
- ・講習会場での拘束時間は最大**4時間程度**
- ・実技講習、実技検定、学科検定は講習会場で実施
- ・最終ページの『講習会受講時の感染防止策チェックリスト（受講者向け）』をご確認ください

### 講習会の 申し込み

- ・LIFESAVERSに公開されている講習会に申し込みをしてください
- ・講習会のタイトルに【BLS講習会（e-learning対応講習会）】と記載されているものを選択してください※（ベーシックサーフライフセーバー資格取得者向け）と記載されているものには申し込めないようにご注意ください
- ・『講習会受講時の感染防止策チェックリスト（受講者向け）』を確認の上、お申し込みください

### 講習会費の 支払い

- ・LIFESAVERS上で『支払い明細』を発行し、コンビニエンス等で支払いを完了してください
- ・主管者から、支払いのタイミング等について具体的な指示が出ている場合は、その指示に従ってください
- ・講習会費の入金後は、原則として返金はできませんので、キャンセルポリシーを必ずご確認ください

### 教本の受け取り 動画URLの受信

- ・入金確認後、LIFESAVERSに登録されている住所に『心肺蘇生教本』を送付いたしますのでお受け取り下さい
- ・入金確認後、LIFESAVERSに登録されているメールアドレスに『BLS学科講習解説動画URL』を送信いたします
- ・講習会当日までに、解説動画を視聴しながら教本の内容をご確認ください
- ・講習会当日は、学科の内容を解説する時間は設けておりませんのでご注意ください

### 講習会の受講

- ・『講習会受講時の感染防止策チェックリスト（受講者向け）』を確認の上、ご受講ください
- ・マスクをご持参ください（忘れた場合は受講できません）
- ・受講中に体調不良を感じた場合は、速やかに主管者に申し出てください
- ・実技講習を全て受講し、実技検定、学科検定に合格すればBLS資格の認定となります

### 資格の付与

- ・インストラクターおよび主管者より結果報告をJLA本部が受領後、LIFESAVERS上に資格を付与します
- ・資格が付与されると、登録メールアドレスに可否通知が届きます
- ・合格の場合は、LIFESAVERSの『資格・選手登録管理』で取得資格を確認できます。
- ・認定証を確認したい場合は、LIFESAVERSの『登録証』画面からPDFデータを取得することができます。

**BLS講習会 講習日程例**

日本ライフセービング協会

**【e-learning版】**

JLAアカデミー本部 BLS委員会

時刻	講習内容	時間	指導担当
8:30	指導員・スタッフ集合		
8:40	打ち合わせ 会場準備		
8:50	受講生受付		
9:00	開講式	0:10	
9:10	本講習の意義	0:20	
9:30	④心肺蘇生の実際	0:40	
10:10		0:05	
10:15	⑥気道異物除去	0:05	
10:20	休憩	0:05	
10:25	④心肺蘇生の実際	1:15	
11:40	休憩	0:05	
11:45	実技検定	0:30	
12:15	学科検定	0:30	
12:45	閉講式	0:10	
12:55	終了・片付け・解散		

※上記日程表は、あくまで一例です。

実際の開始時間等は管理者が設定しているLIFESAVERSの申し込みページ等でご確認ください。

# ◆ウォーターセーフティ講習会（e-learning対応）《単独申し込み》

## 【ポイント】

- ・今年度、ベーシックサーフライフセーバー資格取得を**予定していない方**に対する講習会
- ・**ウォーターセーフティ資格の取得が可能**
- ・学科は**自宅での動画視聴（e-learning）**が必須※受講条件です。
- ・講習会場での拘束時間は最大**4時間**程度
- ・実技講習、実技検定、学科検定は講習会場で実施
- ・最終ページの『講習会受講時の感染防止策チェックリスト（受講者向け）』をご確認ください

### 講習会の 申し込み

- LIFESAVERSに公開されている講習会に申し込みをしてください
- 講習会のタイトルに【ウォーターセーフティ講習会（e-learning対応講習会）】と記載されているものを選択してください※（ベーシックサーフライフセーバー資格取得者向け）と記載されているものには申し込まないようにご注意ください
- 『講習会受講時の感染防止策チェックリスト（受講者向け）』を確認の上、お申し込みください

### 講習会費の 支払い

- LIFESAVERS上で『支払い明細』を発行し、コンビニエンス等で支払いを完了してください
- 主管者から、支払いのタイミング等について具体的な指示が出ている場合は、その指示に従ってください
- 講習会費の入金後は、原則として返金はできませんので、キャンセルポリシーを必ずご確認ください

### 教本の受け取り 動画URLの受信

- 入金確認後、LIFESAVERSに登録されている住所に『ウォーターセーフティ教本』を発送いたしますのでお受け取り下さい
- 入金確認後、LIFESAVERSに登録されているメールアドレスに『ウォーターセーフティ学科講習解説動画URL』を送信いたします
- 講習会当日までに、解説動画を視聴しながら教本の内容をご確認ください
- 講習会当日は、学科の内容を解説する時間は設けておりませんのでご注意ください

### 講習会の受講

- 『講習会受講時の感染防止策チェックリスト（受講者向け）』を確認の上、ご受講ください
- マスクをご持参ください（忘れた場合は受講できません）
- 受講中に体調不良を感じた場合は、速やかに主管者に申し出てください
- 実技講習を全て受講し、実技検定、学科検定に合格すればウォーターセーフティ資格の認定となります

### 資格の付与

- インストラクターおよび主管者より結果報告をJLA本部が受領後、LIFESAVERS上に資格を付与します
- 資格が付与されると、登録メールアドレスに可否通知が届きます
- 合格の場合は、LIFESAVERSの『資格・選手登録管理』で取得資格を確認できます。
- 認定証を確認したい場合は、LIFESAVERSの『登録証』画面からPDFデータを取得することができます。

**ウォーターセーフティ講習会 講習日程例**

日本ライフセービング協会

**【e-learning版】**

JLAアカデミー本部 ウォーターセーフティ委員会

時刻	講習内容	時間	指導担当
8:30	指導員・スタッフ集合		
8:40	打ち合わせ 会場準備		
8:50	受講生受付		
9:00	開講式	0:05	
9:05	本講習の意義	0:20	
9:25	移動・更衣	0:20	
9:45	準備体操・ウォーミングアップ	0:05	
9:50	③ウォーターセーフティプログラムの実際	1:00	
10:50	休憩	0:10	
11:00	③ウォーターセーフティプログラムの実際	1:00	
12:00	④安全管理	0:10	
12:10	クールダウン	0:05	
12:15	更衣・移動・休憩	0:20	
12:35	学科検定	0:15	
12:50	閉講式	0:10	
13:00	終了・片付け・解散		

※上記日程表は、あくまで一例です。

実際の開始時間等は主管者が設定しているLIFESAVERSの申し込みページ等でご確認ください。  
 また、施設利用の関係上、開講式等をプールサイドで実施する場合があります。  
 こちらも主管者が公開している情報をよくご確認の上お申し込みください。

# ◆ベーシック・サーフライフセービング講習会(e-learning対応)《BLS,WS同時申込》

## 【ポイント】

- ・ BLS、ウォーターセーフティ (WS)、ベーシック・サーフライフセーバーの3資格の取得が可能
- ・ 講習会場での拘束日は**4日間**
- ・ **すでにBLS資格、WS資格を取得している方も、今年度は同日程のカリキュラムを受講が必要**ただし、取得済みの資格のe-learning視聴は任意、検定試験は免除とする
- ・ 未取得資格の学科は**自宅で動画視聴 (e-learning)**が必須※受講条件です
- ・ 実技講習、実技検定、学科検定は講習会場で実施
- ・ 最終ページの『講習会受講時の感染防止策チェックリスト (受講者向け)』をご確認ください

### 講習会の 申し込み

- ・ LIFESAVERSに公開されている講習会に申し込みをしてください
- ・ 3講習のお申し込みが必要です。【BLS講習会 (e-learning対応,ベーシックサーフライフセーバー資格取得者向け)】【ウォーターセーフティ講習会 (e-learning対応,ベーシックサーフライフセーバー資格取得者向け)】【ベーシックサーフL講習会 (e-learning対応講習会)】と記載されている講習会にお申し込みください※すでに取得済みの資格については申し込み不要です。
- ・ 『講習会受講時の感染防止策チェックリスト (受講者向け)』を確認の上、お申し込みください

### 講習会費の 支払い

- ・ LIFESAVERS上で『支払い明細』を発行し、コンビニエンス等で支払いを完了してください
- ・ 複数の講習会に申し込まれている方は、一括で明細を発行すると手数料が1回分で済みます
- ・ 主管者から、支払いのタイミング等について具体的な指示が出ている場合は、その指示に従ってください
- ・ 講習会費の入金後は、原則として返金はありませんので、キャンセルポリシーを必ずご確認ください

### 教本の受け取り 動画URLの受信

- ・ 入金確認後、LIFESAVERSに登録されている住所に『心肺蘇生教本』『ウォーターセーフティ教本』『サーフライフセービング教本』を送付いたしますのでお受け取り下さい
- ・ 入金確認後、LIFESAVERSに登録されているメールアドレスに『BLS学科解説動画』『ウォーターセーフティ学科解説動画』『ベーシックサーフライフセービング学科解説動画』のURLを送信いたします
- ・ 講習会当日までに、解説動画を視聴しながら教本の内容をご確認ください
- ・ 講習会当日は、学科の内容を解説する時間は設けておりませんのでご注意ください

### 講習会の受講

- ・ 『講習会受講時の感染防止策チェックリスト (受講者向け)』を確認の上、ご受講ください
- ・ マスクをご持参ください (忘れた場合は受講できません)
- ・ 受講中に体調不良を感じた場合は、速やかに主管者に申し出てください
- ・ 実技講習を全て受講し、実技検定、学科検定に合格すればBLS資格、ウォーターセーフティ資格、ベーシック・サーフライフセーバー資格の認定となります

### 資格の付与

- ・ インストラクターおよび主管者より結果報告をJLA本部が受領後、LIFESAVERS上に資格を付与します
- ・ 資格が付与されると、登録メールアドレスに受講講習会ごとの合否通知が届きます
- ・ 合格の場合は、LIFESAVERSの『資格・選手登録管理』で取得資格を確認できます
- ・ 認定証を確認したい場合は、LIFESAVERSの『登録証』画面からPDFデータを取得することができます

# ベーシック・サーフライフセービング講習会 講習日程例

日本ライフセービング協会

## 【e-learning版】

JLAアカデミー本部 サーフライフセービング委員会

時刻	1日目	時間	指導	時刻	2日目	時間	指導	時刻	3日目	時間	指導	時刻	4日目	時間	指導
8:30	指導員・スタッフ集合			8:30	指導員・スタッフ集合			8:30	指導員・スタッフ集合			8:30	指導員・スタッフ集合		
8:40	打ち合わせ 会場準備			8:40	打ち合わせ 会場準備			8:40	打ち合わせ 会場準備			8:40	打ち合わせ 会場準備		
8:50	受講生受付			8:50	受講生受付			8:50	受講生受付			8:50	受講生受付		
9:00	開講式/はじめに	0:10		9:00	体調確認等	0:05		9:00	体調確認等	0:05		9:00	体調確認等	0:05	
9:10	LSとは?	0:40		9:05	BLS学科検定 WS学科検定 Basic学科検定	1:00		9:05	⑦応急手当 止血と包帯・三角巾 直接圧迫のみ 搬送 ツーパーソン	0:55		9:05	BLS実技確認 吐物対応 搬送後のCPR 回復体位	1:00	
9:50	休憩	0:10		10:05	休憩	0:05		10:00	休憩	0:05		10:05	休憩	0:10	
10:00	BLS実技確認 手順確認	0:50		10:10	BLS実技確認 吐物対応	1:00		10:05	BLS実技確認 吐物対応 搬送後のCPR 回復体位	1:50		10:15	応急手当検定 直接圧迫のみ	0:10	
10:50	休憩	0:10		11:10	昼食・休憩・移動・更衣	1:00		11:55	昼食・休憩・ 移動・更衣	1:00		10:25	CPR検定 搬送→CPR →吐物除去	1:00	
11:00	BLS実技確認 AEDの取り扱い	1:00		12:10	ウォーミングアップ	0:10		12:55	ウォーミングアップ	0:10		11:25	昼食・休憩・ 移動・更衣	1:00	
12:00	昼食・休憩・ 移動・更衣	1:00		12:20	③サーフスキルとトレーニング サーフスイム技術/フィットネス LSのためのリスクマネジメント	0:25		13:05	③サーフスキルとトレーニング サーフスイム技術/フィットネス LSのためのリスクマネジメント	0:20		12:25	ウォーミングアップ	0:10	
13:00	ウォーミングアップ	0:10		12:45	⑥サーフレスキュー チューブレスキュー 意識あり	0:50		13:25	ボード技術	0:30		12:35	サーフスイム技術/ フィットネス	0:20	
13:10	WSプログラム パディシステム ポディローテーション スカーリング 浮身・立ち泳ぎ ライフジャケット	1:00		13:35	休憩	0:10		13:55	⑥サーフレスキュー チューブレスキュー 意識なし シグナル キャリア	1:10		12:55	チューブレスキュー 復習	0:30	
14:10	休憩	0:10		14:15	⑥サーフレスキュー ボードレスキュー 意識なし シグナル キャリア	1:00		15:05	休憩	0:10		13:25	ボードレスキュー 復習	0:30	
14:20	③サーフスキルとトレーニング サーフスイム技術/フィットネス LSのためのリスクマネジメント	0:20		15:15	休憩	0:10		15:15	⑥サーフレスキュー ボードレスキュー 意識なし シグナル キャリア	1:10		13:55	休憩	0:15	
14:40	ボード技術	0:30		15:25	⑥サーフレスキュー チューブレスキュー 意識なし シグナル キャリア	1:00		16:25	休憩	0:10		14:10	チューブレスキュー検定	0:40	
15:10	⑤サーフパトロール シグナル	0:10		16:25	休憩	0:10		17:00	終了・更衣・片付け・解散			14:50	休憩	0:10	
15:20	休憩	0:10		16:35	フィットネス(RSR) クールダウン	0:25		17:00	終了・更衣・片付け・解散			15:00	ボードレスキュー検定	0:40	
15:30	⑥サーフレスキュー ボードレスキュー 基本操作 意識あり	0:50		17:00	終了・更衣・片付け・解散							15:40	フィットネス検定	0:20	
16:20	休憩	0:10										16:00	更衣・移動	0:20	
16:30	フィットネス(RSR) クールダウン	0:30										16:20	閉講式	0:40	
17:00	終了・更衣・片付け・解散												学科再試験含む		

※上記日程表は、あくまで一例です。  
実際の開始時間等は主管者が設定しているLIFESAVERSの申し込みページ等でご確認ください。

# ◆ プールライフガーディング講習会(e-learning対応)《単独申し込み》

## 【ポイント】

- ・ プールライフガード資格の取得が可能
- ・ 講習会場での拘束日は**1日間**（プール施設利用の関係上**0.5日×2回の開催もある**）
- ・ **BLS資格未取得者は、BLS講習会単独開催を受講するか、他団体のBLS資格を取得していること**
- ・ 学科は**自宅で動画視聴（e-learning）**が必須※受講条件です
- ・ 実技講習、実技検定、学科検定は講習会場で実施
- ・ 最終ページの『講習会受講時の感染防止策チェックリスト（受講者向け）』をご確認ください

### 講習会の申し込み

- LIFESAVERSに公開されている講習会に申し込みをしてください
- 講習会のタイトルに【プールLG講習会（e-learning対応講習会）】と記載されているものを選択してください
- 『講習会受講時の感染防止策チェックリスト（受講者向け）』を確認の上、お申し込みください

### 講習会費の支払い

- LIFESAVERS上で『支払い明細』を発行し、コンビニエンス等で支払いを完了してください
- 主管者から、支払いのタイミング等について具体的な指示が出ている場合は、その指示に従ってください
- 講習会費の入金後は、原則として返金はできませんので、キャンセルポリシーを必ずご確認ください

### 教本の受け取り 動画URLの受信

- 入金確認後、LIFESAVERSに登録されている住所に『プールライフガーディング教本』を発送いたしますのでお受け取り下さい
- 入金確認後、LIFESAVERSに登録されているメールアドレスに『プールライフガーディング学科解説動画URL』を送信いたします
- 講習会当日までに、解説動画を視聴しながら教本の内容をご確認ください
- 講習会当日は、学科の内容を解説する時間は設けておりませんのでご注意ください

### 講習会の受講

- 『講習会受講時の感染防止策チェックリスト（受講者向け）』を確認の上、ご受講ください
- マスクをご持参ください（忘れた場合は受講できません）
- 受講中に体調不良を感じた場合は、速やかに主管者に申し出てください
- 実技講習を全て受講し、実技検定、学科検定に合格すればプールライフガード資格の認定となります

### 資格の付与

- インストラクターおよび主管者より結果報告をJLA本部が受領後、LIFESAVERS上に資格を付与します
- 資格が付与されると、登録メールアドレスに可否通知が届きます
- 合格の場合は、LIFESAVERSの『資格・選手登録管理』で取得資格を確認できます。
- 認定証を確認したい場合は、LIFESAVERSの『登録証』画面からPDFデータを取得することができます。

※日程表は、現在準備中です。  
施設利用の関係上、半日の講習会を2回に分けて実施することもあります。

## 講習会受講時の感染防止策チェックリスト(受講者向け)

### 受講者が遵守すべき事項

- 以下の事項に一つでも該当する場合は、受講を見合わせる（当日に確認を行う）
  - 体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - 講習日当日時点で過去14日以内に政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航があった場合、又は当該在住者との濃厚接触があった場合
- マスクを持参し、受講中（休憩時含む）はマスクの着用を基本とすること  
ただし、実技を伴う場合は、マスクの着用によって必要以上に身体的な負荷が掛からないように留意すること
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の受講者、指導員、スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること  
ただし、実技の内容によっては、この距離を保てないことがあることを理解しておくこと
- 講習中は、大きな声による不要な会話をしないこと。極力手指で直接目鼻口を触らない様に注意すること
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 食べ物の共有や取り分け、スポーツドリンク等の回し飲みはしない（ペットボトルには氏名を記載すること）。さらに食べ残し・飲み残しは各自で持ち帰ること
- 感染防止のために管理者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 講習終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、管理者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

### 受講者が実技を行う際に遵守すべき事項

- 十分な距離の確保
  - 実技の種類に関わらず、実技をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること
  - 強度が高い実技の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
  - 水中での実技等でマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をする必要があること（※）感染予防の観点からは、少なくとも2 mの距離を空けることが適当である。
- 位置取り:走る・泳ぐといった実技においては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走（泳）する、あるいは斜め後方に位置取ること
- 実技中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと